

# 2023年12月期 第2四半期 決算説明資料

2023年8月8日



内外トランスライン株式会社

International Freight Forwarder

プライム市場 9384

# 第2四半期 決算概要

## 2023年1月～6月

# 連結第2四半期実績

(百万円)

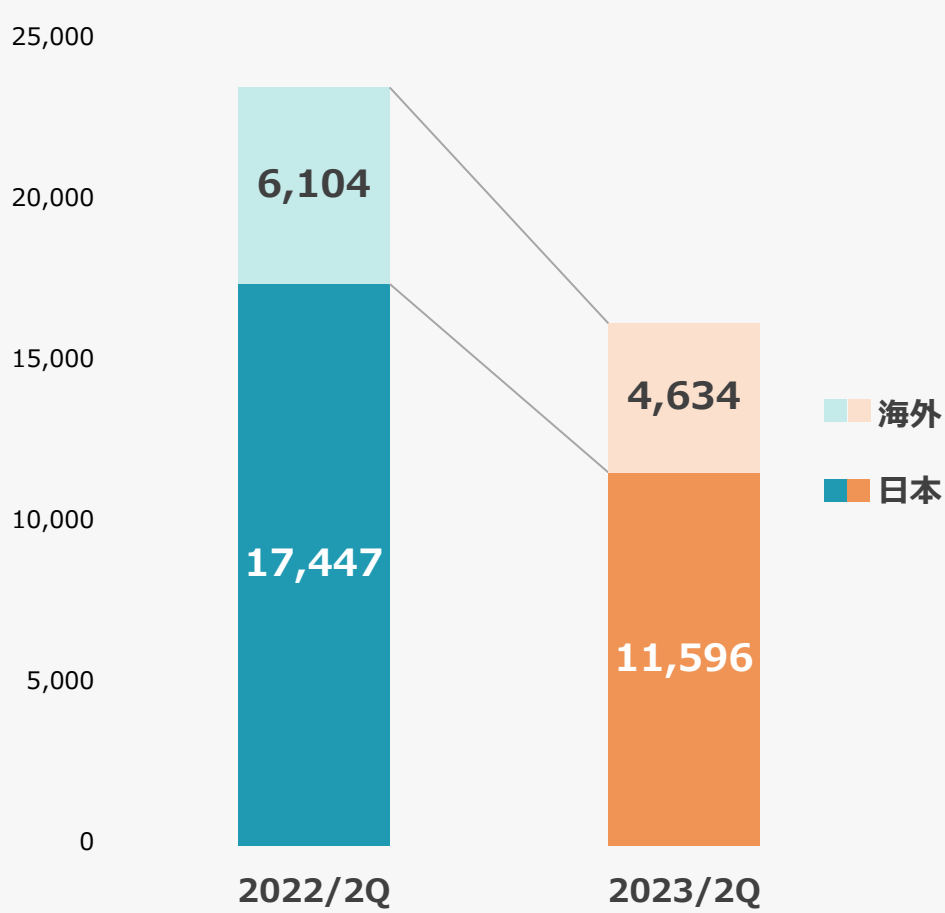
	2022/2Q	2023/2Q	対前年 増減率	2023/2Q 修正予想 (6月15日)	対修正予想 乖離率
売上高	23,552	16,231	△31.1%	16,100	0.8%
営業利益	3,139	2,271	△27.6%	2,200	3.3%
経常利益	3,343	2,443	△26.9%	2,300	6.2%
親会社株主帰属 当期純利益	2,269	1,646	△27.4%	1,600	2.9%

為替レート ¥/US\$      123.14      134.98

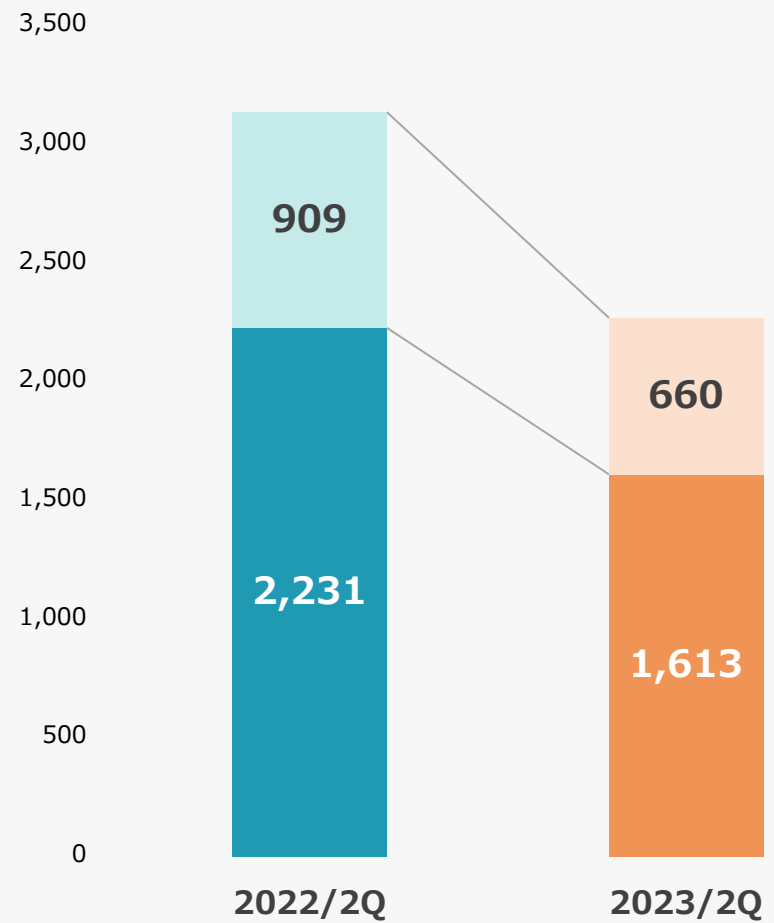
# セグメント別第2四半期売上高・営業利益

(百万円)

## 売上高



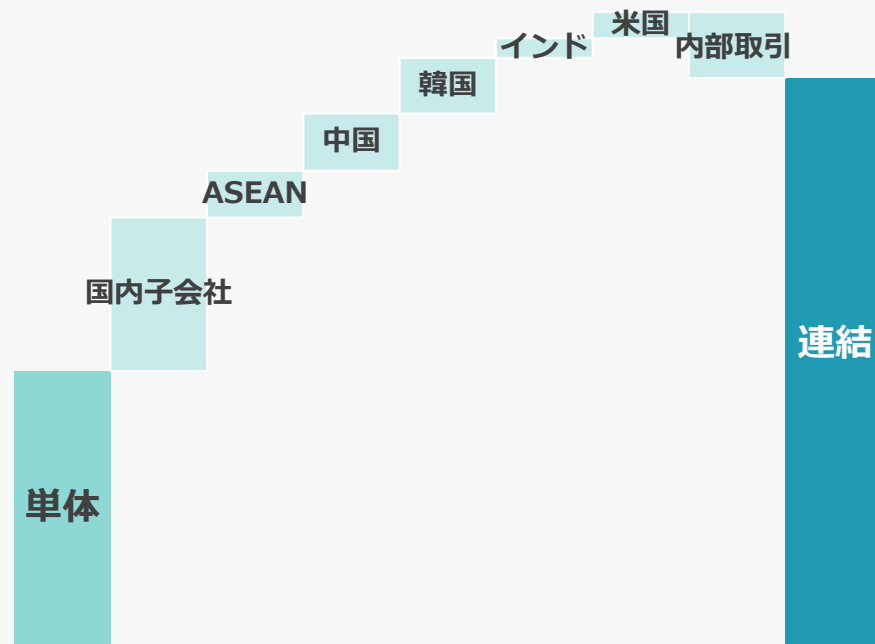
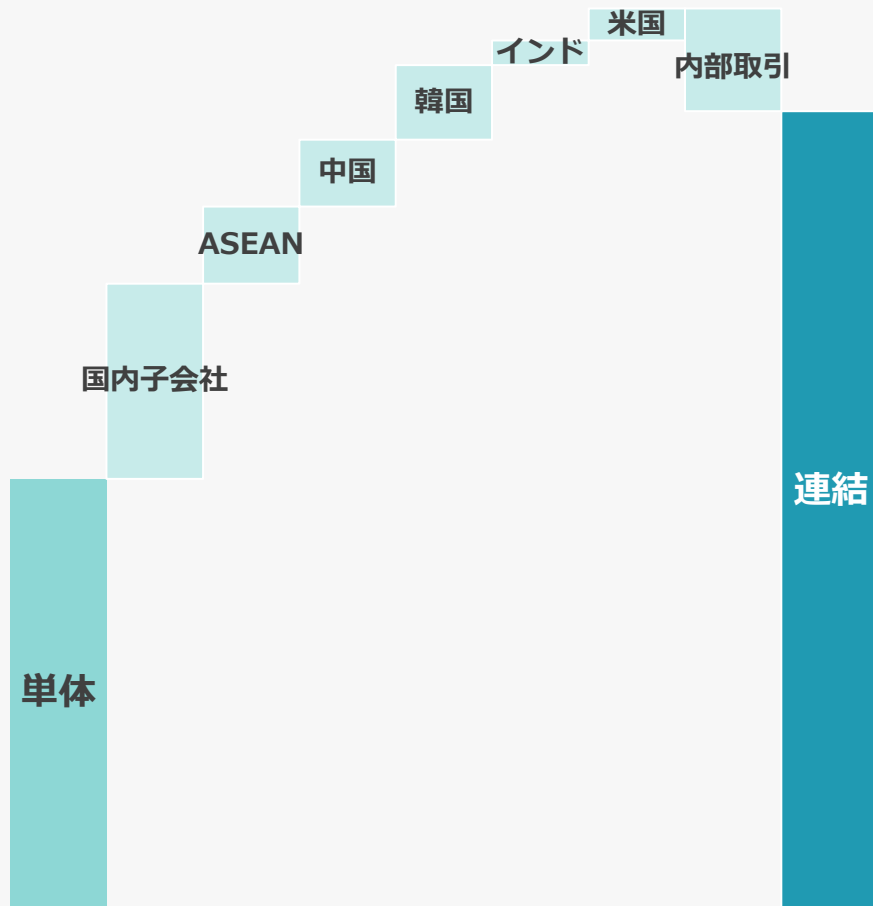
## 営業利益



# 当社グループ第2四半期売上高の割合

2022/2Q

2023/2Q



\* 単純合算

\* ASEAN: シンガポール・タイ・インドネシア

# グループ第2四半期業績ハイライト

## 単体

- 運賃の下落や取扱数量の減少が響き減収減益。

## 国内 子会社

### <ユーシーアイエアフレイトジャパン>

- 主力とする航空輸送の需要減退により減収減益。

### <フライングフィッシュ>

- 巣ごもり需要が落ち着いたことと、在庫調整により取扱数量が減少したこと等により減収。  
利益の確保に努めた結果、増益。

## 海外 子会社

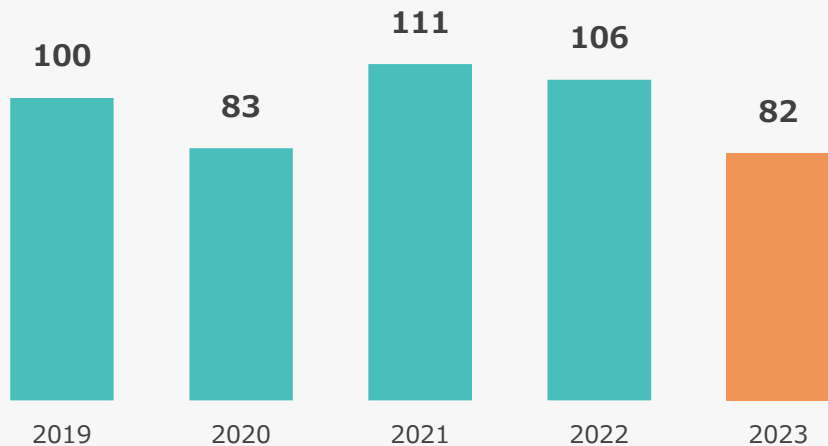
- 運賃の下落及び日本からの混載貨物減少の影響を受け、減収減益。



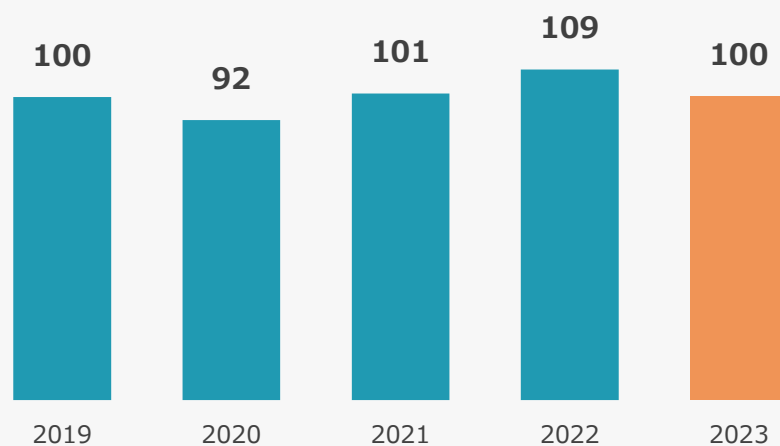
# 単体第2四半期混載売上数量・単価推移

※2019年を100とする

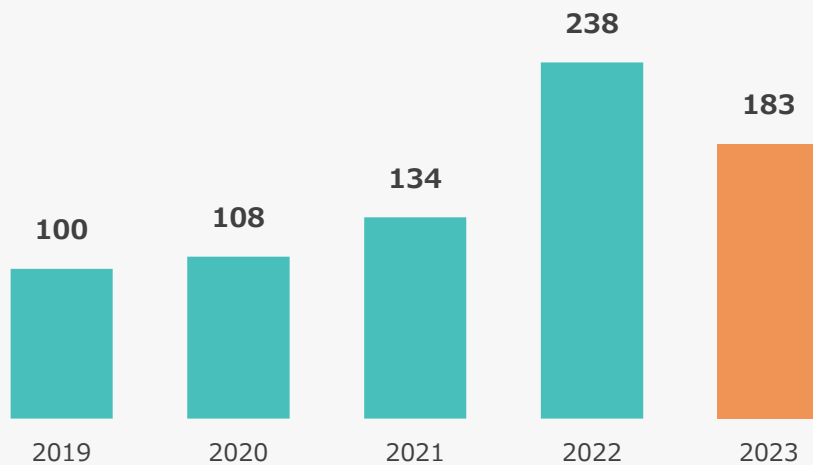
## 輸出混載数量



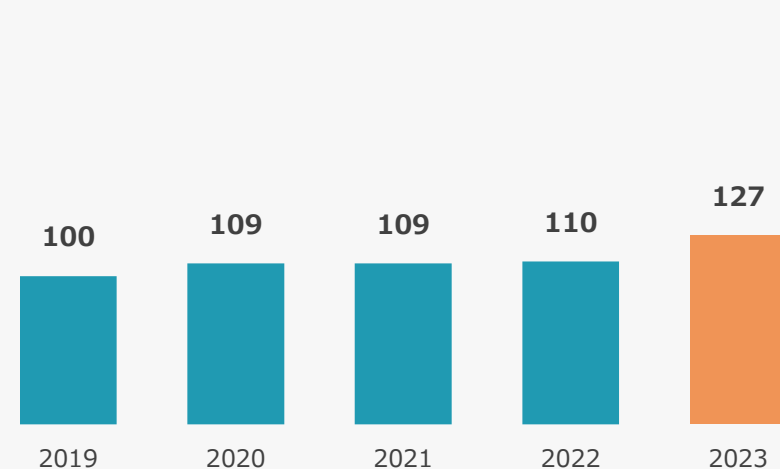
## 輸入混載数量



## 輸出混載売上単価



## 輸入混載売上単価

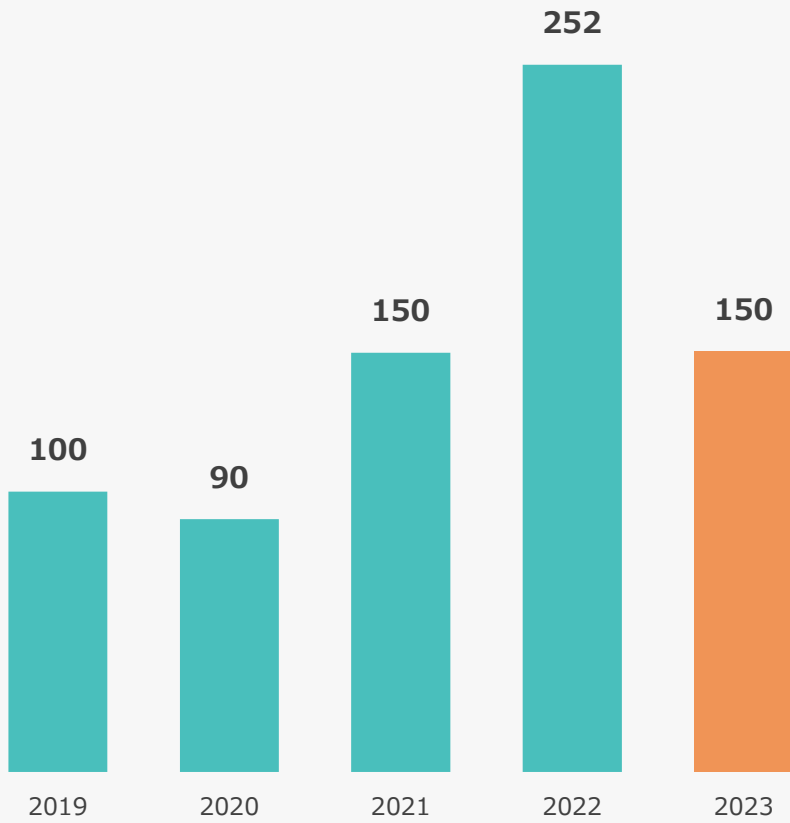




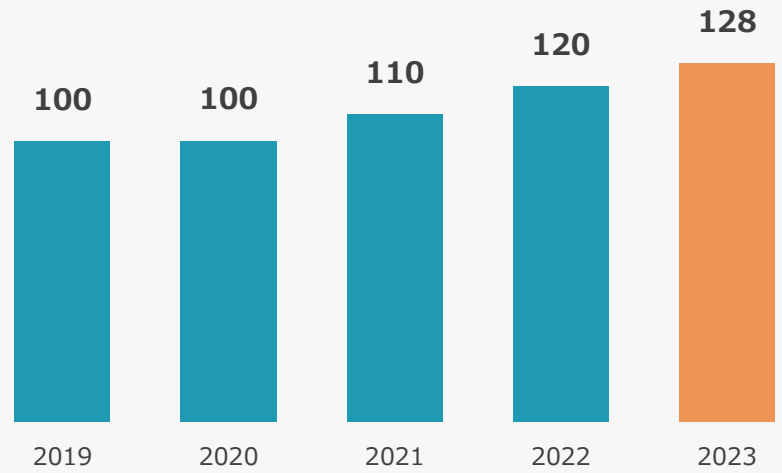
# 単体第2四半期混載売上高推移

※2019年を100とする

輸出



輸入



# 連結貸借対照表の概要(前期末比)

(百万円)

## <主な変動要因>

### 流動資産

- ・現金及び預金  $\Delta 668$
- ・売掛金  $\Delta 846$

### 固定資産

- ・建物及び構築物  $+2,157$
- ・投資その他の資産  $+10$

総資産額 23,037 (+903)

流動負債  
2,738  
( $\Delta 1,057$ )

固定負債  
920  
(+92)

### 流動資産

16,960  
( $\Delta 1,233$ )

### 純資産

19,377  
(+1,867)

### 固定資産

6,076  
(+2,136)

自己資本比率 80.3%

## <主な変動要因>

### 流動負債

- ・買掛金  $\Delta 184$
- ・未払法人税等  $\Delta 783$

### 固定負債

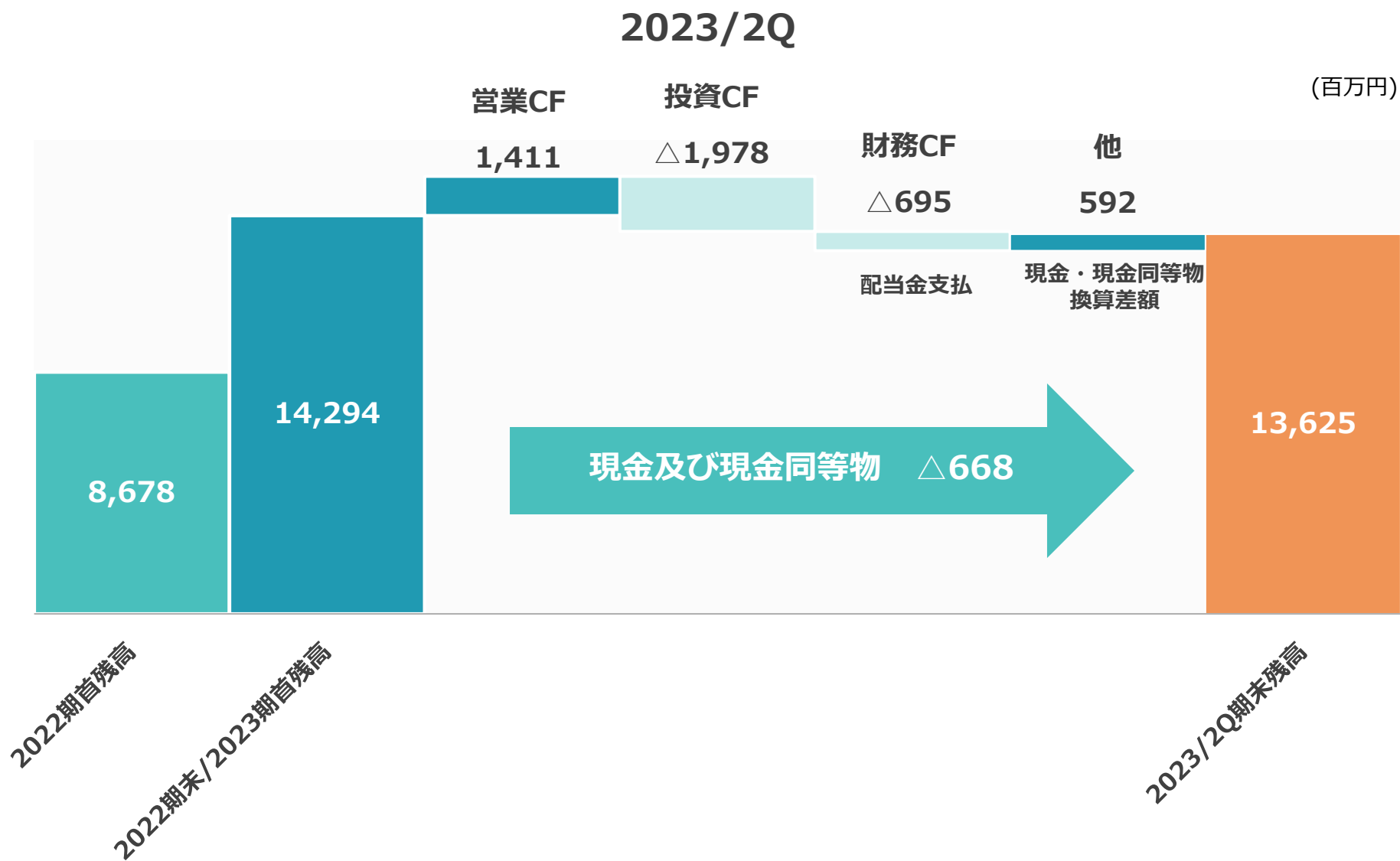
- ・繰延税金負債  $+91$

### 純資産

- ・利益剰余金  $+1,109$
- ・為替換算調整勘定  $+732$

( ) 内は前期末比増減

# 連結キャッシュフロー計算書の概要



# 当社の投資の推移

## 単体の貸借対照表上の「投資その他資産」推移

(百万円)

投資額

利益



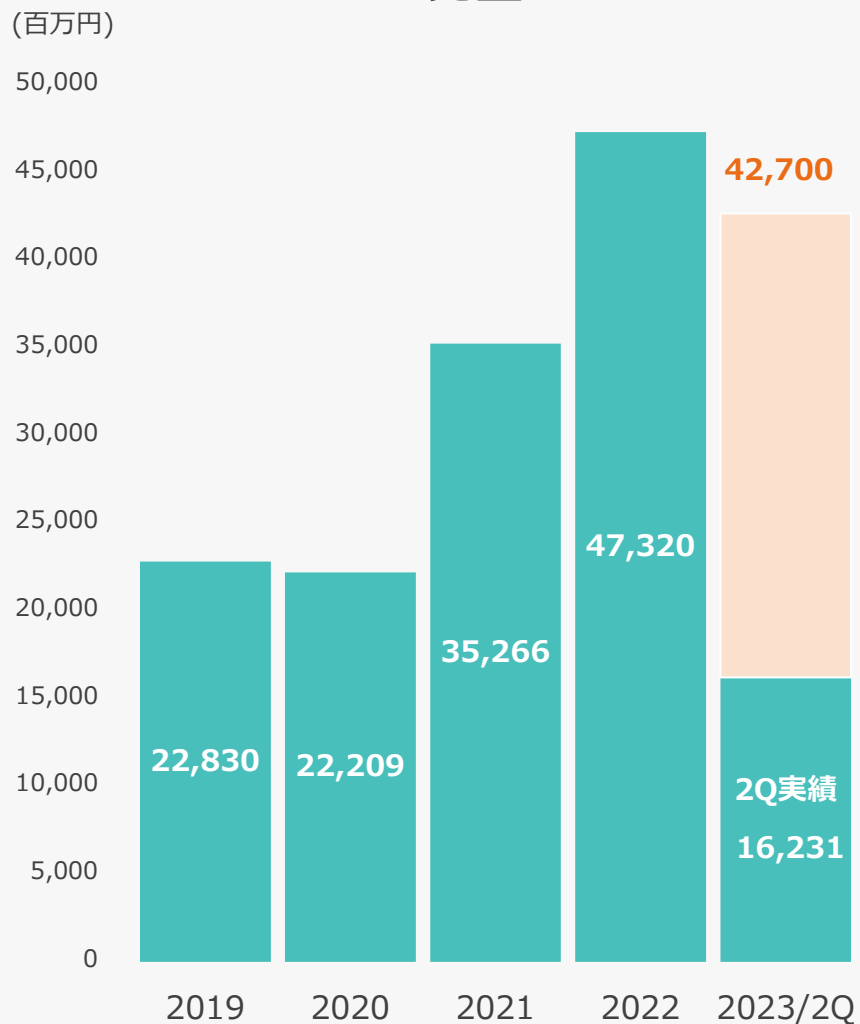
※ 1 NBL…内外釜山物流センター(韓国の連結子会社)

※ 2 2011年、2016年の「連結当期純利益－単体当期純利益」については、連結でのれん減損損失等を計上したことにより、「連結当期純利益<単体当期純利益」となったため、ゼロで表示。

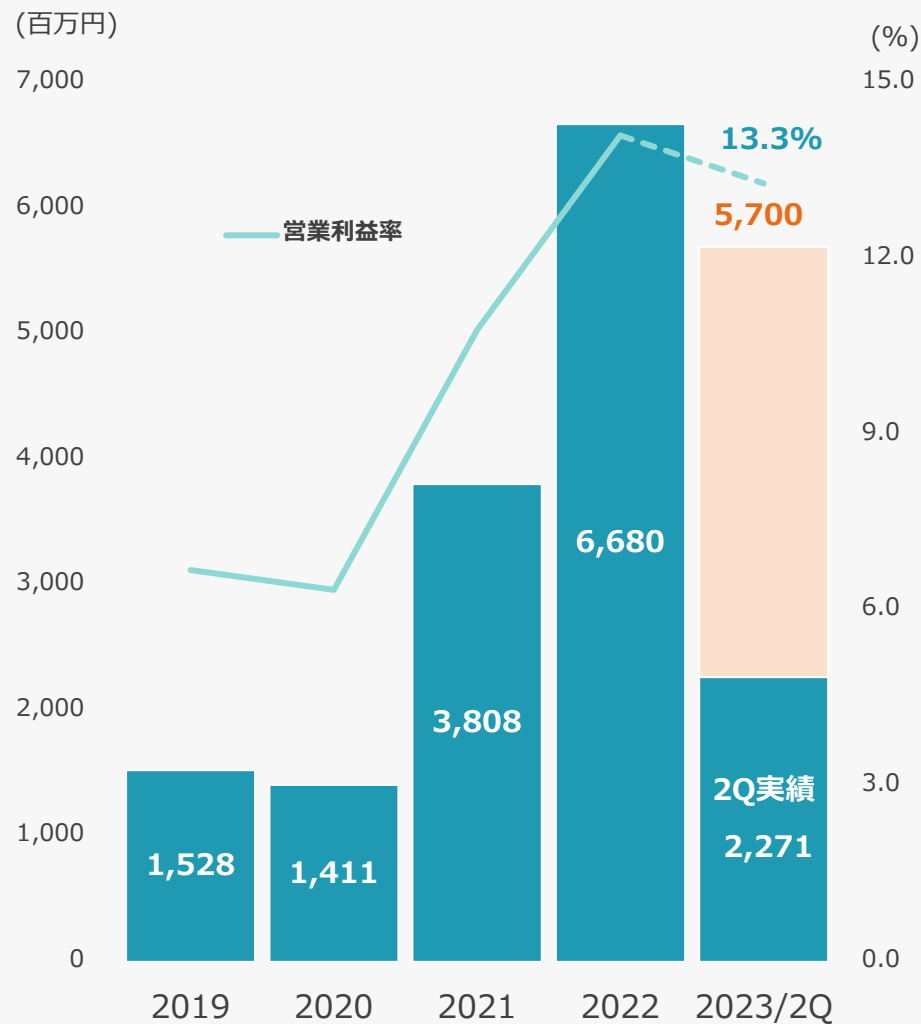
# 今期業績予想

# 連結売上高・営業利益業績予想

## 売上



## 営業利益



# 第5次中期経営計画（2023年～2027年） ※1

当社グループが目指すもの

国際物流における  
最高のソリューション  
プロバイダーでありたい!

基本方針

真の国際総合フレイト  
フォワーダーを目指す

本業の混載で  
国内シェアトップ  
維持拡大

第2の本業として  
フォワーディング  
を徹底的に拡大

グループ  
売上高  
**700億円**  
(2027年度)

当期純利益※2  
**50億円**  
(2027年度)

※1 中長期的視点で経営する目的で5か年で設定

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

# 中期経営計画「施策」

## 国内



### 混載事業

事業ノウハウやネットワークを活かし業界地位を堅持、安定的収益確保を実現

### フォワーディング事業

グループ間の最適な組織編成により売上と利益の増加を目指す

## 海外



### 代理店

さらなる関係強化を図るとともに再編を視野に入れた効率的な運用を行う

### 新規拠点設立

今後成長が期待できるエリアでの現地法人や駐在員事務所の設立を検討

### 既存拠点の業務拡大

現地スタッフによる地場企業向けの輸出営業のインフラを構築、日本以外への輸出獲得を目指す



# 中期経営計画「投資戦略」



# アセット事業「韓国で倉庫を取得」

韓国の連結子会社

2023年  
5月

## 内外釜山物流センター（NBL）が 釜山で3万m<sup>2</sup>物流倉庫を取得

■取得金額：約180億ウォン（18億円）

■倉庫面積：約3万240m<sup>2</sup>

韓国でのビジネス拡大のため、  
親会社である内外トランスラインは、  
NBLに260億ウォン（26億円）を  
増資。



# SDGsへの取り組み

## 当社は経営理念のもと SDGsと行動規範を関連付け グループ経営を推進



(経営理念・行動規範 2006年7月制定)

※内外トランスライングループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

### ■ 当社の行動規範(抜粋)とSDGs

私たちは高い倫理と協調の精神を持って行動します

- 女性活躍推進
- シニア雇用
- 育児・介護休業制度



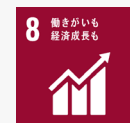
私たちは会社の仕事を通じて社会への貢献を果たします

- 地域社会の発展・活性化・次世代育成
- 環境負荷低減
- CO<sub>2</sub>排出量の算出



私たちはたゆまぬ努力により自己の成長を図り、社会を発展させてゆきます

- 社会・経済の発展に貢献



# 配当金の実績と予想

(配当金/円)

100.00

■ 期末 ■ 中間 ■ 記念

90.00

80.00

70.00

60.00

50.00

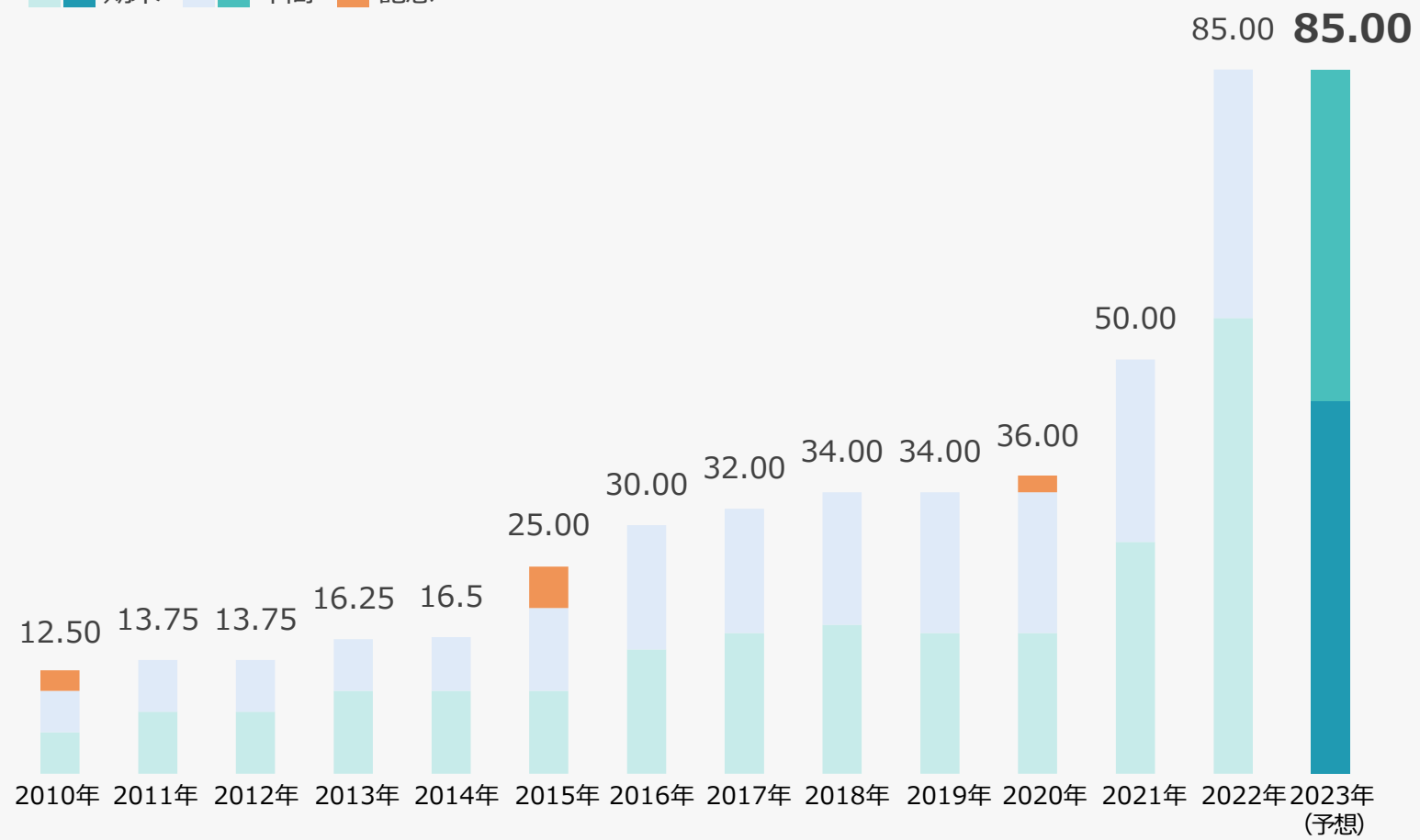
40.00

30.00

20.00

10.00

0.00



※2012年と2015年6月末日を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、上記金額は分割後配当額にて表示

# 当社株価の推移



※2012年と2015年6月を基準日としてそれぞれ1：2の株式分割を実施、分割後の株価を基に算出

出典：Yahoo! JAPANファイナンスを基に当社作成（株価は月末終値）

# ご清聴ありがとうございました



**お問合せ先**：取締役 IR担当 三根 英樹

**大阪本社** 大阪市中央区備後町2丁目6番8号 サンライズビル5階

**TEL** 06-6260-4800 **URL** <https://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。